総務委員会 会議記録

- 1 期 日 令和6年9月18日（水）
午前9時22分 開会
午前10時13分 閉会
- 2 場 所 第1委員会室
- 3 出席委員 委員長 岡本 昭治
副委員長 石田 清
委員 上田 伴子、木谷 敏勝、
竹中 理、西田 真、
松井 正志
- 4 欠席委員 なし
- 5 説明員 （別紙のとおり）
- 6 傍聴議員 なし
- 7 事務局職員 主 幹 堂垣 真弓
- 8 会議に付した事件 （別紙のとおり）

総務委員長 岡本 昭治

総務委員会（分科会）次第

2024年9月18日（水）9：30～
第1委員会室

1 開会

2 委員長あいさつ

3 協議事項

(1) 付託・分担案件の審査について〈2頁〉
ア 委員会審査

イ 分科会審査

(2) 意見・要望のまとめについて
ア 委員会意見・要望のまとめ

イ 分科会意見・要望のまとめ

(3) 閉会中の継続審査申出について〈5頁〉

4 その他

5 閉会

令和6年第3回豊岡市議会（定例会）議案付託表

【総務委員会】

- 第51号議案 財産の無償貸付について
- 第52号議案 物件購入契約の締結について
- 第56号議案 豊岡市企業版ふるさと納税地方創生基金条例の一部を改正する条例制定について
- 第57号議案 豊岡市職員の給与に関する条例及び豊岡市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 第79号議案 令和5年度豊岡市管理会財産区特別会計歳入歳出決算の認定について

予算決算委員会付託議案に係る分科会分担表

【総務分科会】

- 第62号議案 令和6年度豊岡市一般会計補正予算（第4号）
- 第72号議案 令和5年度豊岡市一般会計歳入歳出決算の認定について
- ※ 第62号議案及び第72号議案中の人件費分は、総務分科会に一括分担する。

《参考》 報告案件議案所管分

【総務委員会】

- 報告第11号 専決処分したものの報告について
 - 専決第6号 損害賠償の額を定めることについて
 - 専決第7号 損害賠償の額を定めることについて
- 報告第12号 令和5年度決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率の報告について

総務委員会（分科会） 審査日程表

審査日程	所管（出席対象）部署	審査内容
<p>9月17日（火） 9：30～</p> <p>第1委員会室</p>	<p>【議会事務局】</p> <p>【市長公室】</p> <p style="padding-left: 20px;">秘書広報課、経営企画課、 DX・行財政改革推進課</p> <p>【行政管理部】 財政課、資産活用課</p> <p>【危機管理部】 危機管理課</p> <p>【市民部】 税務課</p> <p>【消防本部】 総務課、予防課、警防課</p>	<p>【委員会】</p> <p>《議案》</p> <p style="padding-left: 20px;">＜説明、質疑、討論、表決＞</p> <p style="padding-left: 20px;">○第79号議案</p> <p>【分科会】</p> <p>《令和5年度一般会計決算認定議案》</p> <p style="padding-left: 20px;">＜説明、質疑、討論、表決＞</p> <p style="padding-left: 20px;">○第72号議案</p>
<p>9月17日（火） 13：00～</p> <p>第1委員会室</p>	<p>【総務部】 総務課、人事課</p> <p>【くらし創造部】 地域づくり課、 多様性推進・ジェンダーギャップ対策課</p> <p>【各振興局】 地域振興課（総務担当）</p> <p>【会計管理者】 会計課</p> <p>【選管監査委員事務局】</p>	<p>《委員会審査意見、要望のまとめ》</p> <p>《分科会審査意見、要望のまとめ》</p>
<p>9月18日（水） 9：30～</p> <p>第1委員会室</p>	<p>【市長公室】</p> <p style="padding-left: 20px;">経営企画課、DX・行財政改革推進課</p> <p>【行政管理部】 財政課、資産活用課</p> <p>【危機管理部】 危機管理課</p> <p>【総務部】 総務課、人事課</p> <p>【くらし創造部】 地域づくり課、</p> <p>【各振興局】 城崎地域振興課（総務担当）</p>	<p>【委員会】</p> <p>《議案》</p> <p style="padding-left: 20px;">＜個別に説明、質疑、討論、表決＞</p> <p style="padding-left: 20px;">○第51号議案 ○第52号議案</p> <p style="padding-left: 20px;">○第56号議案 ○第57号議案</p> <p>【分科会】</p> <p>《令和6年度一般会計補正予算議案》</p> <p style="padding-left: 20px;">＜個別に説明、質疑、討論、表決＞</p> <p style="padding-left: 20px;">○第62号議案</p> <p>《委員会審査意見、要望のまとめ》</p> <p>《分科会審査意見、要望のまとめ》</p>

※ 総務分科会での説明は、基本的に①財政課（全体概要含む）、②人事課（人件費含む）、③その他の課（組織順）の流れでお願いします。

2024年度 豊岡市議会総務委員会名簿

2024年9月18日(水)

【総務委員】

委員長	岡本 昭治
副委員長	石田 清
委員	上田 伴子 木谷 敏勝 竹中 理 西田 真 松井 正志

7名

【説明員】 ※出席者に着色しています

議会事務局	
議会事務局長	山口 繁樹
議会事務局次長	坂本 英津子
市長公室	
市長公室長	谷口 雄彦
秘書広報課長	藤本 充
経営企画課長	真狩 直哉
D X ・ 行財政改革推進課長	若森 洋崇
行政管理部	
行政管理部長	野村 亮太
財政課長	長谷川 幹人
財政課参事	宇野 友喜
資産活用課長	植田 孝志
危機管理部	
危機管理部長	畑中 聖史
危機管理課長	木下 喜晴
総務部	
総務部長(会計管理者)	宮代 将樹
総務課長	太田垣 健二
総務課参事(文書法制担当)	徳味 卓示
人事課長	岡 亮吾
くらし創造部	
くらし創造部長	谷岡 慎一
地域づくり課長	井上 靖彦
多様性推進・ジェンダーギャップ対策課長	木内 純子

市民部	
税務課長	中奥 実
税務課参事	和田 征之
城崎振興局	
地域振興課長	山根 哲也
竹野振興局	
地域振興課長	小林 昌弘
日高振興局	
地域振興課長	吉田 政明
出石振興局	
地域振興課長	三宅 徹
但東振興局	
地域振興課長	道下 一
会計課	
会計課長	西村 嘉通
消防本部	
消防長	井崎 博之
消防本部参事兼総務課長	中地 修
消防本部参事兼警防課長	田中 陽一
予防課長	井上 光彦
選挙管理委員会・監査委員事務局	
選管監査事務局長	中川 光典

説明員計 18名

【担当事務局職員】

議会事務局主幹	堂垣 真弓
---------	-------

計 26名

2024年度 総務委員会の重点調査事項

- 1 基本構想と市政運営について
- 2 地方創生施策の推進について
- 3 移住定住・人口減少対策について
- 4 地方財政及び行財政改革について
- 5 公共施設マネジメントについて
- 6 自治体DXの課題と推進について
- 7 消防行政の推進について
- 8 地域コミュニティの推進について
- 9 ジェンダーギャップ解消の推進について

午前9時22分 委員会開会

○委員長（岡本 昭治） それでは、皆さんおはようございます。

皆さんおそろいになっておりますので、ただいまから総務委員会を開会いたします。

今日は、2日目の委員会になります。慎重審議していただき、決定をいただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

本日は、当委員会に付託、また当分科会に分担された議案の審査として、個別に説明、質疑、討論、表決を行い、その後、意見、要望のまとめを行う予定としております。

委員の皆さんは、Side Books上のフォルダー、ホーム、総務委員会、総務06.09.18が、本日の委員会のフォルダーです。そこに本日の委員会の資料を配信しております。

委員の皆さん並びに当局職員の皆さんは、質疑、答弁に当たりましては要点を押さえ、簡潔、明瞭に行っていただき、スムーズな議事進行にご協力をお願いいたします。

なお、委員会及び分科会の発言は、委員長、分科会長の指名の後、マイクを使用して、課名と名字を名のってから行っていただきますようお願いいたします。

これより、3、協議事項、（1）付託・分担案件の審査について、ア、委員会審査に入ります。

まず、第51号議案、財産の無償貸付についてを議題といたします。

当局の説明を求めます。

資産活用課、植田課長。

○資産活用課長（植田 孝志） 私のほうからは、第51号議案の財産の無償貸付についてのご説明をいたします。議案書の33ページをご覧ください。

本案は、市において活用予定のない市有財産のうち、建物などを無償で貸し付けることにより、当該市有財産全体の有効活用を進め、地域の活性化を図ろうとするものであり、地方自治法の規定により議会の議決を求めるものです。

無償貸し付けしようとする財産は建物などで、豊

岡市日高町道場157番地の1の旧静修小学校の校舎など計7棟、2,097.54平米と、そのほかの旧静修小学校の施設に附属する設備や物品です。

無償貸付けとする理由ですが、まず、土地については適正な価格で貸付けをいたします。一方で、建物も適正な価格で貸し付けることとした場合、学校跡地は全体の面積、規模がとても大きく、かなりの高額になるため、現実にはなかなか活用が進まないことが見込まれます。そこで、全国の多くの自治体でも、建物の無償貸付け等により跡地活用を進めており、これらの先例も踏まえつつ、早期に活用につなげていくことも必要です。また、建物などを有償で貸し付けた場合、貸付期間中の施設の基本的な管理責任などは市が負う必要があるなど、管理経費の負担も課題となりますので、学校跡地の建物などについては現状有姿での利用を条件に無償貸付けとしようとするものです。さらに、プロポーザルの公募条件には、地域の活性化に資する活用を条件としており、これらの点を総合的に勘案して無償で貸し付けしようとするものです。

貸付期間は、令和6年11月1日から令和16年10月31日までの10年間です。相手方などにつきましては、議案記載のとおりです。

なお、今回、建物などの評価額は、建物全体で2,340万円、これを先ほどの理由などにより無償で貸与することとしたものです。

また、今回は、国の補助事業で整備したプールにつきましては、現時点で財産処分の制限に関する国の承認を受けることができないため、プール部分を除いた貸付けとなっています。国の承認が得られた時点で、改めてプール部分の貸付手続を進めたいと考えておりますので、よろしくお願ひいたします。説明は以上です。

○委員長（岡本 昭治） 説明は終わりました。

質疑はありませんか。

西田委員。

○委員（西田 真） ちょっと確認をさせていただきます。土地は有償で貸し付けるということで、建物は

無償ということもお聞きいたしましたけど、建物を無償で貸し付けるんですけど、普通の、どういいますか、貸し付ける場合の金額は幾らかいうのも教えていただきたいと思います。建物の価値は2,340万円ということでしたけど、有償で貸し付ける場合は幾らで、今回は無償の提案でありますけど、その金額を教えてください。

そして、土地の貸付けは適正な価格ということでありましたけど、土地の貸付けの金額も教えてください。以上です。

○委員長（岡本 昭治） 植田課長。

○資産活用課長（植田 孝志） 建物につきましては、先ほど言いましたように評価額が2,340万円ということですので、貸付金額につきましてはその6%という基準になっております。年額としましては140万4,000円ということになります。

それから、土地につきましては適正な価格ということで、今回は年額223万5,000円で貸し付けるということになっております。以上です。

○委員長（岡本 昭治） 西田委員。

○委員（西田 真） 了解しました。地域への活性化も含めて、適正に貸し付けていただくということで、建物の管理も借りたところがされるということですのでよろしいですね。市の補修とか、そういうことは10年間一切ならないということですのでよろしいんですか、確認です。

○委員長（岡本 昭治） 植田課長。

○資産活用課長（植田 孝志） 今、西田委員がおっしゃったとおり、今回は建物を無償で貸し付けいたしますので、その間の維持管理については全て借りられるほうで行っていただくという契約になっております。

○委員（西田 真） 委員長、以上です。

○委員長（岡本 昭治） ありがとうございます。

ほかに。

上田委員。

○委員（上田 伴子） 先ほどのに加えて、この会社の、どういうんですか、従業員数とかそのようなものが分かれば。

それと、それから、地域との連携みたいなことでは何かされるようなことがあるのかどうか、2点お願いします。

○委員長（岡本 昭治） 植田課長。

○資産活用課長（植田 孝志） 今ちょっと聞いているところの情報になるんですけども、借りられる会社の現在の従業員の数は11名というふうに聞いております。

あと、地域との連携ということですけども、特に、具体的にはないんですけども、あくまで、例えば地域の方が利用したいとか活用したいということがあれば、そのような話には相談に応じていただけるということは聞いております。

○委員（上田 伴子） 分かりました。

○委員長（岡本 昭治） いいですか。

○委員（上田 伴子） はい。

○委員長（岡本 昭治） そのほかありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（岡本 昭治） 質疑を打ち切ります。

討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（岡本 昭治） 討論を打ち切ります。

お諮りいたします。本案は、原案のとおり可決すべきものと決定してご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（岡本 昭治） ご異議なしと認めます。よって、第51号議案は、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

次は、第52号議案、物件購入契約の締結についてを議題といたします。

当局の説明を求めます。

危機管理課、木下課長。

○危機管理課長（木下 喜晴） それでは、議案書37ページをご覧ください。第52号議案、物件購入契約の締結についてご説明いたします。

本案につきましては、消防団員の健康管理、熱中症対策として夏用の活動服を購入することについて、議会の議決をお願いするものでございます。

契約の方法は指名競争入札、契約の金額は消費税

込みで2,626万3,710円、7月3日に仮契約のほうを締結しております。

その他につきましては記載のとおりでございますが、今回購入する999着につきましては、城崎消防団、日高消防団、出石消防団に配備することとしておりまして、豊岡、竹野、但東団につきましては、来年度の配備を予定しております。

説明は以上です。

○委員長（岡本 昭治） 説明は終わりました。

質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（岡本 昭治） 質疑を打ち切ります。

討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（岡本 昭治） 討論を打ち切ります。

お諮りいたします。本案は、原案のとおり可決すべきものと決定してご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（岡本 昭治） ご異議なしと認めます。よって、第52号議案は、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

次は、第56号議案、豊岡市企業版ふるさと納税地方創生基金条例の一部を改正する条例制定についてを議題といたします。

当局の説明を求めます。

経営企画課、真狩課長。

○経営企画課長（真狩 直哉） 議案書の45ページをご覧ください。第56号議案、豊岡市企業版ふるさと納税地方創生基金条例の一部を改正する条例制定についてご説明いたします。

本案は、地域再生法の改正に伴い、引用する規定の条番号を改めようとするものです。

附則で、この条例は、公布の日から施行することとしております。

49ページに新旧対照表をつけておりますので、ご覧ください。

説明は以上です。

○委員長（岡本 昭治） 説明は終わりました。

質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（岡本 昭治） 質疑を打ち切ります。

討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（岡本 昭治） 討論を打ち切ります。

お諮りいたします。本案は、原案のとおり可決すべきものと決定してご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（岡本 昭治） ご異議なしと認めます。よって、第56号議案は、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

次は、第57号議案、豊岡市職員の給与に関する条例及び豊岡市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定についてを議題といたします。

当局の説明を求めます。

人事課、岡課長。

○人事課長（岡 亮吾） 議案書の51ページをご覧ください。第57号議案、豊岡市職員の給与に関する条例及び豊岡市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定についてご説明いたします。

本案は、正規職員及び会計年度任用職員の同一週外への週休日の振替等を行うことで、1週間当たり38時間45分を超えて勤務した者に対して、その超えた時間に係る時間外勤務手当を支給するため、所要の規定の整備を行おうとするものです。

附則で、この条例は、令和6年10月1日から施行することとしています。

なお、56ページ以降に新旧対照表をつけておりますので、ご覧ください。

説明は以上です。

○委員長（岡本 昭治） 説明は終わりました。

質疑はありませんか。

上田委員。

○委員（上田 伴子） この勤務時間にしたら、本当にほぼほぼ正規職員並みの時間だと思いましたが、今までは、超えたことに対しては振替などのことでおられたのか、サービス残業にはなっていないと思

いますけれども、どのような方法で、仮にそういう時間を超えた場合は処理をしておられたのか、お願いします。

○委員長（岡本 昭治） 岡課長。

○人事課長（岡 亮吾） ご質問ですけども、これまでは38時間45分を超えた場合に、本来であれば振替とは別に、超えた分に関して25%の割増し賃金を支払わなければならなかったんですけども、これまではその支払いがなされてなかったと、いわゆる振替休日のみを取得していたというような状況になります。以上です。

○委員長（岡本 昭治） 上田委員。

○委員（上田 伴子） 今回そういうふうになってよかったかなと思うんですけど、例えば行事などですごい遅い時間までせんなんこともあると思いますし、なかなか振替っていっても処理ができないことが多々あると思うので、いいと思います。終わります。

○委員長（岡本 昭治） よろしいですか。

○委員（上田 伴子） はい。

○委員長（岡本 昭治） そのほかありますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（岡本 昭治） 質疑を打ち切ります。

討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（岡本 昭治） 討論を打ち切ります。

お諮りいたします。本案は、原案のとおり可決すべきものと決定してご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（岡本 昭治） ご異議なしと認めます。よって、第57号議案は、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

ここで、委員会を暫時休憩します。

午前9時38分 委員会休憩

午前9時38分 分科会開会

○分科会長（岡本 昭治） 分科会を開会します。

これより、3、協議事項、（1）付託・分担案件

の審査について、イ、分科会審査に入ります。

第62号議案、令和6年度豊岡市一般会計補正予算（第4号）を議題といたします。

62号議案中、当分科会に審査を分担されましたのは、所管事項に係る歳入歳出予算補正、債務負担行為補正及び地方債補正についてであります。

当局の説明は、まず財政課から全体概要を含めて説明を、次に、人事課から全体の人件費を含めて説明をいただき、その後、組織順で各担当課から歳出及び歳入等を一気に説明願います。

質疑は、説明が終わった後に一括して行います。

それでは、順次説明願います。

財政課、長谷川課長。

○財政課長（長谷川幹人） 議案書の109ページをご覧ください。第62号議案、令和6年度豊岡市一般会計補正予算（第4号）でございます。

第1条で、歳入歳出それぞれ8億6,891万8,000円を追加しまして、総額を486億1,398万1,000円とするものでございます。

第2条で、債務負担行為の追加を、第3条で地方債の追加及び変更を行っております。

本補正予算の概要ですが、9月補正としまして、執行見込額の精査による過不足が生じる経費、人事異動に伴う人件費の整理、前年度決算確定に伴う精算といったような内容でございます。

歳入では、普通交付税の本算定を受けまして、普通交付税と臨時財政対策債の確定を行っております。結果としまして、最終の財源調整につきましては財政調整基金で行っております。

概要につきましては以上です。

続きまして、財政課所管分を説明いたします。131ページ、歳出をご覧ください。一番下の段、基金管理費です。市債管理基金積立金の5億7,000万円につきましては、地方財政法の規定によりまして、歳計剰余金処分前年度の実質収支額11億2,379万7,000円の2分の1以上を積み立てるといったものでございます。

168ページをご覧ください。予備費でございます。今回、今年につきましては、緊急を要する竹野

泉源の修繕などに2,700万円を執行する見込みということがありますので、今回2,000万円を追加するといったものでございます。

続きまして、歳入です。戻っていただきまして、121ページをご覧ください。一番上の普通交付税につきましては8,354万4,000円の減額というふうにしております。これにつきましてはちょっと理由がありまして、交付税の本算定に基づくものでして、下水道事業会計の資本費平準化債、これが、交付税算定額が減少したといったことがございましたので、その分を下水道事業の繰出金のほうでも減額してるといったことです。交付税も減るんですけど、繰出金も減るといったことで、いわゆる相殺、行ってこいといった状況でございます。

125ページ、一番下の枠、財政調整基金繰入金につきましては2億7,764万2,000円の減額でして、財源調整により減額をするものといったものでございます。

127ページ、上から2枠目の前年度繰越金5億6,999万9,000円を計上しております。先ほど歳出で説明しました、令和5年度の実質収支額の2分の1以上である5億7,000万円を市債管理基金に積み立てるといったことで計上しております。

残りにつきましては、当初予算及び補正予算時に取り崩しました財政調整基金の繰入金の減額であったり、また、今後、人事院勧告に伴う人件費の増額に充てていくということで、一部留保をさせていただいてるといったこととなります。

ちなみに、国の人事院勧告につきましては、月例給で2.76%、ボーナスで0.1月分引上げといったこととなりますので、この財源としてちょっと留保させていただきたいというふうに考えております。

129ページ、一番下の段、臨時財政対策債500万円を減額しております。普通交付税の本算定に伴いまして、上限額が7,040万円と決まりましたので、この上限額までの発行とするため、今回減額を行ったということでございます。

財政課からは以上です。

○分科会長（岡本 昭治） 人事課、岡課長。

○人事課長（岡 亮吾） それでは、一般会計補正予算（第4号）に係る人事課所管分の人件費の補正につきましてご説明いたします。

令和6年度人件費、9月補正予算の主な理由、一般会計という資料を別紙にて配付させていただいておりますので、これに基づき説明いたします。よろしいでしょうか。

○分科会長（岡本 昭治） どうぞ。

○人事課長（岡 亮吾） 例年、9月の補正につきましては、基本的に当初予算編成に間に合わず反映できなかった要素や、4月の人員配置の変化などを反映し調整するものです。4月以降の随時の異動等につきましても反映させています。

それでは、費目ごとに説明をさせていただきます。

報酬につきましては、1,332万2,000円の増額としています。主な内訳としましては、フルタイム会計年度任用職員からパートタイム会計年度任用職員への入替え等により803万2,000円増加しています。また、育休等の代替職員の雇用期間の延長や追加に伴い529万円増加しています。

給料につきましては、3,519万7,000円の減額としています。主な要因は、当初予算編成後に育児休業者や退職者が発生したことにより不用額が生じたことや、フルタイム会計年度任用職員が減少したこと、それから、人事異動、昇給、昇格、初任給が確定したことによる調整などによります。

手当につきましては、2,025万9,000円の減額としています。減額要因としましては、育児休業や退職に伴う期末勤勉手当の減額、随時の変更による減額などです。一方で、児童手当の増額や地震関連業務に係る時間外勤務手当などの増加要因もあり、差引きでマイナスになったものです。

児童手当につきましては、国の制度改正によりまして高校生を支給対象の子供に含めること、第3子以降の子供への給付額を月額3万円とすること、その他、手当の対象者のカウントに大学生相当年齢ま

でを含めることなどが決まっています。本改正では、令和6年10月からの適用となり、第1回目の支給は本年12月を予定していますので、これらに必要となる予算1,327万円を増額しています。

共済費につきましては、755万2,000円の減額としています。共済組合負担金率の増加、それから標準報酬月額の見直しによる増額をすること、育児休業者や退職に係る不用額の減額を反映したものです。

負担金につきましては、418万1,000円の減額としています。退職手当組合の負担金の減によるものです。主な内訳は、育児休業者や退職者等による不用額、4月初任給や昇給、昇格等の確定を反映したものです。

以上、9月補正で、人件費5,386万7,000円の減額をお願いします。

説明は以上です。

○分科会長(岡本 昭治) DX・行財政改革推進課、若森課長。

○DX・行財政改革推進課長(若森 洋崇) 債務負担行為、歳出、歳入の順に説明します。

まず、債務負担行為です。113ページをご覧ください。一番上、ガバメントクラウド管理領域構築です。以前の委員会でも申し上げましたが、これ自治体情報システムの標準化では、自治体はガバメントクラウドに接続し、ガバメントクラウド上に構築された標準準拠システムを使うことが求められています。豊岡市は、LGWAN、Local Government Wide Area Network、総合行政ネットワークとも呼びますが、を使用してガバメントクラウドに接続する予定です。この接続の際、LGWANと税とか住民記録とかの各業務システムが稼働する領域を接続するための管理領域をクラウド上に構築する必要があります。この業務は、各業務システムのクラウド上への移行のタイミングに合わせて行う必要がありますので、今年度から3年間で実施する予定です。2024年度構築分の費用は、歳出予算に計上しております。後ほど説明いたします。

その下、ガバメントクラウド接続ネットワーク構築です。ガバメントクラウド上に構築された標準準拠システムを使うためには、税や住民記録等の基幹業務システムを運用している弊市の基幹系ネットワークもLGWAN系のネットワークに接続する必要があります。この際に、必要な通信のみを通過させるため、ファイアウォール、許可された通信以外を遮断するような機器ですけれども、等のネットワーク機器を設置しようとするものです。本年度から2年間で実施する予定ですが、本年度、2024年度の支払いは予定しておりません。

次に、歳出です。133ページをご覧ください。中ほどの少し下、行政情報化推進事業費です。これは、先ほど説明したガバメントクラウド管理領域構築の2024年度支払い予定分です。

次に、その下、DX推進事業費です。一般質問でも答弁いたしましたけれども、第5次行財政改革大綱の柱の一つである「すべての職員にとって働きがいのある市役所になっている」の実現を目指し、また、度重なる事務処理誤りの発生等を踏まえ、それらの部署を中心に職場の現状等を把握するためのヒアリングを実施しております。今回の予算は、アドバイザーを招聘し、ヒアリングを踏まえて課題の背景、それから課題の真因を明らかにするとともに、対応策を検討しようとするものです。その予算は、費用弁償及び委託料のうち99万円です。また、対応策の一つとして、管理職研修の費用、委託料ですが85万3,000円も計上しています。

ちょっとこれについて、少し説明を加えます。部長等に対し、自律的なマネジメントを求めています。まだ浸透し切っていないと認識しています。例えば、管理職には限られた資本、特に企業経営の4つの資本のうち、人的資本や財務資本などをやりくりして成果を出すことを求めています。しかし、恒常的なデスクワークによる残業を前提としたり、また、従来の事業を見直すことなく、単に予算を増やすことによって新規事業を実施しようとするような姿勢が見受けられます。詳細はアドバイザーとともに検討しますが、現時点では、豊岡市役所とい

う組織が管理職に求めること等を改めて定義をし、研修等によって浸透させていく必要があると考えております。

次に、歳入です。127ページをご覧ください。3つ目の表、雑入、補助金・交付金のデジタル基盤改革支援補助金のうち、DX・行財政改革推進課分507万6,000円です。歳出予算で説明したガバメントクラウド管理領域構築の2024年度分の財源です。

説明は以上です。

○分科会長（岡本 昭治） 危機管理課、木下課長。

○危機管理課長（木下 喜晴） それでは、159ページをご覧ください。下から2番目の枠、下のほうになります。非常備消防事業費といたしまして623万4,000円、その内訳といたしまして、手数料1万9,000円と実施設計621万5,000円を計上しております。こちらにつきましては、老朽化した城崎消防団第1分団ひたち班の消防車庫のほうを解体撤去し、城崎中学校グラウンドの南東端のほうに城崎消防団第1分団やまと班の車両も格納する消防車庫を新築することに係る実施設計業務と建築確認に係る費用を補正予算でお願いするものでございます。

現在のひたち班の消防車庫につきましては、消防署の旧城崎分署の建物の大谿川を挟んで向かい側にあるものでして、1973年の建築、50年が経過をしておる、老朽化をしておるということ、また、兵庫県の行います無電柱化推進計画事業で設置されます変圧器の置場としてその用地を売却するというものでございます。ひたち班の消防車庫の解体撤去、それに伴う消防車庫の新築を併せて予定をしておるものでございます。

ひたち班の車庫新築に併せまして、敷地、車庫等も狭くて、消防団の活動に支障を来しております鴻の湯の西側にあります、やまと班の車庫と併せて新築しまして、一体の建物として活用する計画としております。なお、現在のやまと班の消防車庫につきましては、防災資材庫として引き続き活用することとしております。

この時期に補正予算をお願いいたしましたのが、兵庫県の行います無電柱化推進計画事業が公表されまして、事業の開始に間に合わせるためには今年度中に消防車庫の設計を、来年度中に消防車庫の新築及び現在の車庫の解体を行う必要があることから、補正のお願いをするものでございます。

消防車庫の解体、新築の事業に当たっては、ほかにも今年度、車庫の新築用地の土地の測量ですとか分筆、登記の事務、また、県の事業のために移転することから、県の公共補償を受けるための調査を行う必要もありまして、こちらにつきましては、後ほど城崎振興局から説明のほうさせていただきます。

次に、同じく159ページ、一番下の枠、上のほうになります。災害対策事業費の備品購入費で、186万2,000円を計上しております。これにつきましては、津波避難場所のうち、建物の中に避難できる施設に設置しております震度感知式の鍵ボックスをダイヤル併用型の震度感知式の鍵ボックスに更新するものでございます。

震度感知式鍵ボックスについては、設置している場所で震度5弱以上の震度を感知した場合に作動して、ボックス内にある津波避難場所の入り口の鍵が取り出せるというものでございますが、能登半島地震に伴う津波警報発表時にはそれぞれ震度5弱に達しなかったために、鍵が取り出せない事案が発生しました。そこで、今回4桁の番号を合わせることで鍵ボックスが開くという機能を有した鍵ボックスに更新をしたいというものでございます。

4桁の番号につきましては、津波警報に伴う避難指示を知らせる防災行政無線放送に併せてお知らせをする、また、夜間でも宿直員がいる市役所のほうに電話していただければ、4桁の番号をお知らせするという対応したいと考えております。

なお、津波避難場所の建物の近隣の区には、津波避難場所の建物の鍵自体をお預かりいただいております。今回ボックスを替えるといったことで、震度の感知、また、ダイヤルで開ける、預けている鍵で開けると、複数の手段で津波避難場所に入れるという形が取れることとなります。

現在設置しております震度感知式の鍵ボックスは5か所ですが、能登半島地震の津波警報時に避難された方の多かった竹野中学校にも新たにダイヤル併用型の震度感知式の鍵ボックスを設置することといたしまして、合計6か所分の鍵ボックスの備品購入をお願いするものでございます。

次に、同じ159ページ、一番下の防災行政無線管理費です。防災行政無線の設備の点検の際に、田鶴野小学校に設置をしております屋外拡声スピーカー、3つのラップがついとるんですが、そのうち1つが音声を発していないという状況が判明しましたため、不良箇所の修繕を行うものとして57万4,000円を計上しているところでございます。

説明は以上です。

○分科会長（岡本 昭治） 総務課、太田垣課長。

○総務課長（太田垣健二） それでは、私のほうから総務課の補正予算について、歳出、歳入の順番に説明をさせていただきます。

まず、130ページ、131ページをご覧ください。よろしいでしょうか。

○分科会長（岡本 昭治） はい。

○総務課長（太田垣健二） 131ページの右側の下から2つ目の説明欄、下から3行目、一般管理費でございます。補正の内容といたしましては、一般管理費の補助金、地区集会施設整備費を200万円増額いたしまして、1,250万円とするものでございます。

本補助金につきましては、地区集会施設の整備に対し支援を行い、行政区の核施設とすることを目的として交付するものですが、8月末時点におきまして、既に6地区に対し補助金の交付決定を行っており、さらに、それ以外の複数の地区からも改修に係る相談を受けていることから、現計予算額と執行見込額との差額の補正をお願いするものでございます。

続きまして、136ページ、137ページをご覧ください。よろしいでしょうか。

○分科会長（岡本 昭治） はい。

○総務課長（太田垣健二） 137ページの右側の一番下の説明欄、全国家計構造調査費でございます。このたび、全国家計構造調査事務委託金につきまして116万4,000円の交付決定がありましたので、当初予算との差額の7万8,000円につきまして、交付決定額に合わせ、調査員報酬、事務経費及び人件費充当額を増額補正するものでございます。

続きまして、138ページ、139ページをご覧ください。よろしいでしょうか。139ページの右側の上から2つ目の説明欄、国勢調査費でございます。このたび、国勢調査事務委託金につきましても50万5,000円の交付決定がありましたので、当初予算との差額の10万7,000円につきまして交付決定額に合わせ、事務経費及び人件費充当額を増額するものでございます。

続きまして、歳入でございます。戻っていただきまして、122ページ、123ページをご覧ください。よろしいでしょうか。123ページの右側、上から2つ目の説明欄の移譲事務市町交付金でございます。これは、同交付金につきまして312万円の交付決定がありましたので、当初予算との差額93万4,000円を増額するものでございます。

同じく、123ページでございますが、右側の下から2つ目の説明欄に、歳出の際に申し上げましたけれども、各種統計に係る県の委託金として、当初予算との差額、国勢調査事務委託金10万7,000円、全国家計構造調査事務委託金7万8,000円をそれぞれ計上させていただいております。

総務課からは以上でございます。

○分科会長（岡本 昭治） 地域づくり課、井上課長。

○地域づくり課長（井上 靖彦） 132、133ページをお願いいたします。下から2つ目の枠、市民プラザ管理費です。電気代の高騰により、アイティ共有部の管理費単価の値上げがアイティ管理組合の総会で決定し、これにより組合への共益費、年間増額分79万7,000円を計上しております。

次に、134、135ページをお願いいたします。上から3つ目の枠、定住推進事業費で600万円を計

上しています。具体的には、空き家改修補助金について、当初予算で8件分、800万円を予算化していましたが、8月末現在で既に8件の交付決定を行っており、現在申請受付を停止している状況でございます。今後の執行見込みを踏まえ、今回増額補正を行うものです。

説明は以上です。

○分科会長（岡本 昭治） 城崎振興局地域振興課、山根課長。

○城崎振興局地域振興課長（山根 哲也） それでは、131ページをお開きください。131ページ、一番下の枠、下から3行目、財産管理費になります。これが、先ほどの危機管理課からも説明がありました、ちょっと一部、重複するところは省略させていただきますが、県の無電柱化推進計画事業もあり、老朽化している城崎消防団の消防車庫のある土地を県へ譲渡し、あわせて、敷地、車庫ともに狭く、消防団活動に支障を来しております同じ第1分団の車庫と併せて新築し、一体の建物とする計画で、これらに係る経費として、城崎振興局地域振興課から予算をお願いするものが、この財産管理費の中の業務委託料777万円のうち、本消防車庫の物件調査業務委託料563万6,000円と移転新築場所の土地測量、分筆、登記に係る測量業務委託料64万9,000円の合計628万5,000円となります。

歳入でございます。127ページをお開きください。127ページの上から2枠目の、3の雑入の上から7行目、移転補償金1,088万6,000円のうち628万5,000円、先ほど説明いたしました支出628万5,000円全てが県の公共補償の対象ということで充当いたします。

説明は以上でございます。

○分科会長（岡本 昭治） 説明は終わりました。

質疑はありませんか。

上田委員。

○委員（上田 伴子） 人件費のことですけれども、今、フルタイムからパートタイムに移る人とかもおられるというようなことを聞いてるんですけども、

今、フルタイムの会計年度任用職員さんは全体で何人で、パートタイムの会計年度さんは何人かというのが分かればお願いします。

○分科会長（岡本 昭治） 人事課、岡課長。

○人事課長（岡 亮吾） 4月時点の数になりますが、フルタイムが50人、パートタイムが579人の計629人という形になります。

○分科会長（岡本 昭治） 上田委員。

○委員（上田 伴子） このうち、フルタイムからパートタイムに移られる方とかは、数的には、分からなかったらいいんですけども、結構、何人か、多い傾向にあるのかどうか。

○分科会長（岡本 昭治） 岡課長。

○人事課長（岡 亮吾） フルタイム、4月1日時点で50人ということなんですけど、今回2人減ということで48名ということになっています。逆に、フルタイムからパートタイムへの任用替えだとかパートタイムのほうでの採用というようなことで、ちょっとそこは拡充しているという形になっています。以上です。

○委員（上田 伴子） 分かりました。このフルタイムっていったら、ほぼほぼ正職並みの時間数ですので、そこでのやっぱりいろんなあつれきもあると思います。大変な方たちですので、ぜひよろしく願いいたします。以上です。

○分科会長（岡本 昭治） 財政課、長谷川課長。

○財政課長（長谷川幹人） 1点だけ修正をさせていただきますと思ってます。

129ページ、一番下の段、臨時財政対策債500万円を減額したという説明をしましたが、50万円の減額ということになります。おわびしまして、訂正いたします。以上です。

○分科会長（岡本 昭治） そのほか質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（岡本 昭治） それでは、質疑を打ち切ります。

討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（岡本 昭治） 討論を打ち切ります。

お諮りいたします。本案は、原案のとおり可決すべきものと決定してご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（岡本 昭治） ご異議なしと認めます。

よって、第62号議案は、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

以上で本日の審査は終了しました。

ここで、委員の皆さん、当局職員の皆さんから何かありましたらご発言願います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（岡本 昭治） ないようですので、それでは、当局の皆さんはご退席いただいて結構です。お疲れさまでした。

ここで、分科会を暫時休憩します。

午前10時07分 分科会休憩

午前10時09分 委員会再開

○委員長（岡本 昭治） 委員会を再開します。

それでは、これより、3、協議事項、（2）意見・要望のまとめについて、ア、委員会意見・要望のまとめに入ります。

当委員会に審査を付託されました案件の本日の審査は終了しました。

ここで、委員会意見・要望として、委員長報告に付すべき内容についてご協議いただきたいと思いをします。

暫時休憩いたします。

午前10時09分 委員会休憩

午前10時09分 委員会再開

○委員長（岡本 昭治） それでは、再開いたします。

意見・要望等はないということですので、そのように決定させていただきます。

次に、委員長報告についてですが、内容につきましては、正副委員長に一任願いたいと思いますが、ご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（岡本 昭治） ご異議なしと認め、そのよ

うに決定しました。

ここで、委員会を暫時休憩します。

午前10時10分 委員会休憩

午前10時10分 分科会再開

○分科会長（岡本 昭治） 分科会を再開します。

これより、3、協議事項、（2）意見・要望のまとめについて、イ、分科会意見・要望のまとめに入ります。

当分科会に審査を分担されました案件の本日の審査は終了しました。

ここで分科会意見・要望として、予算決算委員会に報告すべき内容について協議いただきたいと思いをします。

暫時休憩いたします。

午前10時10分 分科会休憩

午前10時10分 分科会再開

○分科会長（岡本 昭治） それでは、分科会を再開いたします。

特に意見がないということで、そのようにさせていただきます。

次に、分科会長報告についてですが、内容につきましては、正副分科会長に一任願いたいと思いが、ご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（岡本 昭治） ご異議なしと認め、そのように決定しました。

以上で、分科会を閉会します。

午前10時11分 分科会閉会

午前10時11分 委員会再開

○委員長（岡本 昭治） 委員会を再開します。

これより、（3）閉会中の継続審査申出についてに入ります。

資料5ページにあります委員会重点調査事項を、閉会中の継続審査事項として議長に対して申し出たいと思いが、これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長(岡本 昭治) よろしいでしょうか。(「はい」と呼ぶ者あり)

それでは、ご異議なしと認め、そのように決定しました。

これより、4、その他に入ります。

その他、委員の皆さん方から何かありましたらお願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長(岡本 昭治) 昨日の討論の内容について、ちょっと確認をしていただきたいと思います。

今、確認いただいている内容ですけれども、内容については原稿をいただいた分から引用させていただいておりますので、上田委員、確認をお願いしたいと思います。

○委員(上田 伴子) はい。

○委員長(岡本 昭治) それと、木谷委員もお願いしたいと思います。(発言する者あり)

○委員(上田 伴子) 結構です。

○委員長(岡本 昭治) よろしいですか。

それでは、このように決定をさせていただきます。ありがとうございました。

以上をもちまして、総務委員会を閉会いたします。皆様お疲れさまでした。ありがとうございました。

午前10時13分 委員会閉会